

プレセミナー④ 片岡

◆演題名:論文執筆に限らない研究を進めるための AI ツール活用

- 抄録本文:日本語全角 400 文字程度

近年、ChatGPT を始めとする大規模言語モデルが広く一般利用されるようになり、研究の進め方が大きく変化した。この動きは、かつてのインターネットの出現と同様のパラダイム・シフトを引き起こそうとしている。特に、研究プロジェクトを進めるための単位時間当たりの効率の大幅な改善が見込まれる。しかし、仮説検証や反証主義といった原則は変わらない点も重要である。本セッションでは、AI ツールの活用が論文執筆全般に及ぼす影響について、その時点の最新の状況をもとに、参加者との議論を深めたい。

- 略歴: 日本語全角 200 文字程度

2007 年 東北大学医学部医学科卒業 2014 年 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻専門職学位課程修了 京都民医連あすかい病院内科 SRWS-PSG 会計 京都大学大学院医学研究科 地域医療システム学講座・医療疫学分野「誰でもできる臨床研究」を合言葉に日々活動中